



いたやなぎ 町議会だより

令和5年
3月定例会

第37号
2023. 5. 12

板柳町の夢進人！

～青森県大会で2連覇を目指す！～

板柳ワイルドイーグルス 板柳南小学校 6年 山内 颯一郎 さん そういちろう



- 5人が一般質問 P 2～ 6
- 常任委員会審査 P 7
- 予算特別委員会 P 8～ 9
- 一目で分かる審議結果 他 P 10～ 13
- 新人議員紹介 他 裏表紙

板柳ワイルドイーグルス副キャプテンの山内颯一郎さんに夢を語っていただきました。

令和4年のマクドナルド杯（全国大会）では2回戦を突破できなかったが、今年はさらに勝ち進んで、もっと強いチームとも戦ってみたいと語ってくれました。

また、強くなるために日頃から練習日以外にも練習することを心がけており、キャプテンにも負けなくらい練習していきたいと話してくれました。

町民の声を町政に

第13回定例会一般質問

第13回板柳町議会定例会が3月6日から15日までの日程で開催されました。3月8日に行われた「一般質問」に、5名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

町の交通不便地域解消に係る調査研究の経過について



佐藤 文俊

問 過去の同内容の質問に対し、これからも広く意見を聞きながら調査研究を進めるといふ回答であった。この間交通難民となっている高齢者等のみならず、板柳高校閉校に伴い、他市町村の高校へ進学する生徒の交通手段も整備する必要があると考えるが、町の調査研究の経過を伺う。

答 (成田町長) 各市町村で実施に当たり、大きな経費がかかる割に利用率が伸びない、費用対効果が大きな問題になっている。さらに県が地域公共交通の現状をまとめたものには、自家用車の便利さに慣れてしまい、バスなどの公共交通は様々な不満があるという結果も出ている。学生の交通手段については、

これまで同様、既存の公共交通を有効に活用していただきたい。当町では、中央病院の送迎バスを交通手段として利用できるようにしており、一定の効果も果たしている。さらに町民の方にご利用いただけるよう、今後努めてまいりたい。

問 小学校の部活が既にクラブチーム化に向かっていく。その送り迎えを進めるとのことだが、いつから始めるのか。

答 (永澤教育長) まだ具体的な話はでていないが、前向きに検討していきたい。

問 クラブチームになると、練習場までさらに遠くなり、選択肢がなくなる。また、高校進学が交通不便によって左右される。さらに高齢者の交通難民もある。

答 (成田町長) まさに本町の緊急事態だと思ふ。町長は人づくりはまちづくりの根本という言葉を使うが、その基本となる児童生徒のスポーツや教育まで芽を摘む事態になっていることを町長は認識しているか。

それを全て対応すれば、それに越したことはない。しかし、行政としてはさらに調査も必要である。今子ども達のスポーツの関係も出たが、これは前向きに進めるように指示しているところである。

県の運営方針による国民健康保険料水準の県内統一化について

問 県の方針によると令和7年度までに保険料の算定方式を、現在の所得割・資産割・均等割・平等割の4方式から資産割を除く3方式に統一するとなっていくが、町ではいつから適用するのか。

答 (村上副町長) 令和5年度から適用させる予定としている。

問 現在、一般医療給付分として町保険税の中に資産税の45%が算定されているが、この部分が無くなると個人の町保険税はどうなるのか。

答 (村上副町長) 1人当たりの板柳町国民健康保険税は県内40市町村の平均あたりの水準にな

ると見込んでいる。

公共工事の入札に係るこれまでに発生した疑惑の払拭に向けた対策について

問 談合疑惑や業者による恫喝疑惑などにより、幾度となくマスコミ紙上に取り上げられてきた。これにより未だ町内外から冷やかな視線を受ける場面が多々ある。町の建設業者等指名委員会や不当要求行為等防止対策委員会では、関係業者からの聞き取り調査以外に、疑惑の払拭に向けた何らかの対策を講じているのか。

答 (村上副町長) 入札制度に関しては、法令、規則、要領、マニュアル等を遵守して行っている。疑惑の払拭という点については、委員会において談合は認められなかったと判断している。特別に疑惑の払拭に向けた取組は考えていない。今後公平、公正な入札執行に努めていく。



今 浩一

りんごワーク研究所について

問 町の公的資金1億円を交付投入した「りんごワーク研究所」のその後の状況を伺う。

答 (成田町長) 令和4年度の経営状況の見込みは収支計算書において事業活動収入が3億1,920万2,000円に対し、事業活動支出が3億1,778万円で、事業活動収支差引額は142万2,000円との報告を受けている。

問 りんごワーク研究所経営改善計画書について、内容は理事長でもある町長もご覧になったと思うが、感想は。

答 (成田町長) 黒字を見込んでいる状況であるが、引き続き経費削減に取り組みながら、経営改善が進むように指導していきたい。

問 経費削減だけで改善できるのか。副町長に伺う。

答 (村上副町長) 経営健全化には経費削減や売上げを伸ばす必要もある。

問 経営責任あるべき立場の理事会が開かれていない。理事会は今の取組を把握しているのか。職員のみが経営改善に力を注げばよいという考えなのか。

答 (成田町長) 理事会は今月に開催すると報告を聞いています。やはり役員が一丸となって、経営改善に向かっていくべきものだと考える。

問 販路拡大が重要な役割を果たすものと思うが。

答 (成田町長) そのとおりである。

問 前町政では、全国各地へアンバサダーを配置していた。いろんな職種、経歴を持った方々に当町をサポートしていただき、りんごワーク研究所にも一定の貢献度はあったものと思うが。

答 (成田町長) アンバサダーの取組はマンネリ化してきたので、今はりんご大使の形で町のPRやりんごワークの商品のPRを進めている。

問 対話を大切に、商売繁盛を目指す上で、全国各地アンバサダーを復活させては。

答 (成田町長) りんご大使の効果は全国的に広がっていると私は理解している。

学校部活動の地域移行及び地域クラブ活動について

問 スポーツ庁と文化庁は、令和4年12月に「学校部活動および新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、その内容を公表した。当町の考えを伺う。

答 (永澤教育長) 小中学校におけるスポーツ、文化活動の在り方を協議するため、学校及びスポーツ関係者で構成する板柳町小中学校スポーツ文化活動検討委員会を立ち上げている。既に小学校のスポーツ活動については活動が困難になる競技もあることから支援等を検討し、実施に向けて進めたいと考えている。中学校もよりよい環境づくりを目指してまいりたい。

問 国の示す移行時期は。

答 (工藤生涯学習課長) 小学校は、既に各小学校の移行が全国的に進んでいるが、中学校の移行は令和8年3月までの令和7年度中である。

問 中学校から来年度より部活動が任意になると旨の通達があったが、教育委員会と一緒に決めたことか。

答 (工藤生涯学習課長) 通知については学校判断である。

問 学校でこのような考えを示したが、どのように考えるか。

答 (永澤教育長) 体制づくりを3年でできるかはなかなか厳しい状況であると思うが、部活の任意制についてはだいたい前から指摘されてきた。教育委員会でも学校の取り組みに協力していく。

当町の人口推移と税収・財源について

問 少子高齢化により人口減少が進んでいる当町の将来の人口推移を伺う。

答 (成田町長) 板柳町人口ビジョンにおいて、2060年の人口を5,226人と推計している。

問 人口減少により今後、町の財源である税収見込みをどの様に考えているのか。

答 (成田町長) 人口が減少したからといって一概に減少するとは考えていない。

町長の公約と政策について

問 公約や政策は、その財源と将来負担などを十分検討・考慮したもののなか伺う。

答 (成田町長) 将来に負担を残さないように国や県の補助事業や、有利な起債を活用しながら考えている。例えば公約の統合小学校の整備や板柳第三保育所鶴住の建て替え費用などの財源については、過疎計画などに盛り込み、財源の確保に努めている。



鈴木 清孝

物価高騰対策について

問 新年度予算における町独自の物価高騰対策の取り組みと方策について伺う。

答 (成田町長)

プレミアム付商品券発行事業や商品券の配布など広く町民に経済支援を講ずるほか、高校生までの医療費の無料化など子育て世帯の経済的支援を行っていく。今後も随時対応していきたい。

役場の窓口業務の効率化による町民サービス向上について

問 役場窓口等において、デジタル化により町民の利便性を高め、職員の負担も減らす改善対策について伺う。

答 (成田町長)

現在役場庁舎内において、どのような窓口サービスの対応が可能か調査をさ

せている。

問 地方のデジタル化を後押しする財政支援の枠組みを生かして、当町でもいち早く国の事業に取り組みんでいくべきだと考える。スピード感を持って対処していただきたい。

保育所の将来像について

問 かつて町直営であった保育所が、公設民営化により社会福祉法人に移譲され運営されてきた。今までの経緯と今後の将来像について見解を伺う。

答 (成田町長)

これまで児童数の減少や施設の老朽化により施設の統廃合が進められてきた。将来像については、運営主体の社会福祉法人鶴住会と協議連携し、町としても安心して子育てができるよう保育環境の向上に努めていく。

問 板柳第三保育所鶴住と畑岡保育所鶴住の統廃合並びに施設整備について、町では運営主体の施設整備事業に対し、国事業等を活用した補助金、交付金、過疎債を予定しているとのことであったが、令和5年度

の予算書のどこにも計上されていない。来年8月に予定している新築開園に間に合うのか。

答 (成田町長)

事業費が固まり次第、年度途中でも予算計上したい。

問 地域の子ども達や保護者のために事業主体がスムーズに着手できるように支援を希望したい。また、

営利を目的としない社会福祉法人の特殊性を鑑み、町としてかさ上げ補助すべきではないか。

答 (成田町長)

町と事業主体と連携を密にして、できるだけ早く開園できるように、今後とも誠意を持って協議していきたい。

地域活性化に向けた人材育成について

問 超高齢化社会や少子化による人口減少に直面している。課題克服のために「人への投資」の一環としての人材育成策について伺う。

答 (成田町長)

人への投資はこれからますます必要になってくるだろうと思う。人づくりはまちづくりにつながる。さらにまた新しい事業の可能性を探っていきたい。

町各種委員等の報酬費用弁償について

問 板柳町報酬費用弁償条例別表第一に定められている町各種委員等の報酬費用弁償の額について伺う。

答 (大井総務課長)

平成17年の板柳町行財政改革計画により見直しを行った金額となっている。平成18年度より委員長は4,000円を3,500円、委員は3,700円を3,000円に改正した額となっている。

問 一律に縮減したまま現在に至っているが、他

市町村のレベルまで引き上げる必要があるのではないかと伺う。

答 (成田町長)

内部でさらに調査していきたい。

議会を傍聴しませんか 次の定例会は6月です

<議会日程のお知らせ (予定)>

日	時	内 容
6月 5日 (月)	午前10時	開会
6月 7日 (水)	午前10時	一般質問
6月 8日 (木)	午前10時	常任委員会
6月 9日 (金)	午前10時	採決・閉会

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。





濱名康治

今冬の除排雪について

問 豪雪対策本部が設置されたが、今冬の町の除排雪作業の状況について伺う。

答 (成田町長) 今年度は夜間から早朝にかけての早出回数が昨年度の19回を上回る24回である。2月にはいたや町・文京町・牡丹森・柏木・夕顔関地区を中心に集中排雪を行った。他の地域においても順次道路の幅出し回数を増やすなど、通学路の確保や生活道路、交差点等の除排雪に努めている。

問 全庁体制で雪害対策に取り組みと町のホームページに出ている。町長はどのような強化・指示をしたのか。

答 (成田町長) 通学路の確保や生活道路の確保等について、担当課長に指示し対応した。

問 除排雪パトロールの強化とは。

答 (葛西地域整備課長) 当課職員や除雪作業員のパトロールにより雪の状況を確認し、早出等の除雪終了後の要望や苦情に対して機動的な対応をするように努めた。

問 町民の雪置場の拡充などへの対応・強化とは、どこの雪置場を強化したのか。

答 (葛西地域整備課長) 雪置場は表町の河川敷と十川の河川敷に設置している。特に表町の雪置場は集中して雪が運ばれるため、いっぱいになると予想される場合はすぐに2つ目を設置できるように準備していた。

問 2月半ばに暖気すると、雪置場はぬかるような状態となり、実際、年配の方の軽トラが埋まった。やはり、タイヤショベルなどの機械が常駐する日が週に何回かあってもいいのではないかと思うが。

答 (成田町長) その実態を把握していないので、今後調査していきたい。

問 これまでの政策と今後について

問 成田町長のこれまでとこれからの公約についての考えを伺う。

答 (成田町長) 就任以来、町民の誰もが板柳に住んでよかったと実感してもらえらるまちづくりを目指し、町政運営に取り組んできた。これまで子育て支援や町民の健康づくり、生活環境の整備などの様々な施策に取り組んできた。今後とも町勢発展と町民の幸せのために様々な施策に鋭意取り組んでまいりたい。

問 町長は農家の所得は向上していると思うか。また、どんな取組をすれば向上していけると思うのか。

答 (成田町長) りんごについては、ここ数年、価格がある程度高騰して、農家の皆さんも経営的にはいい状態だと理解している。水田については圃場整備事業を行い、生産性を高め、農家の所得に結びつけていくことで進めている。

問 町長はスマート農業技術を活用し、足腰の強い農業を目指すとのことだが、このスマート農業をどのように考えているのか。

答 (成田町長) 今、最新技術が農業に入ってきている。人手不足や収益性を高めるといったことに効果があると思う。さらに県の事業であるアンテナ基地局を活用し、水田農業の効率化につながっていくと考えている。

問 スマート農業の機械はとも高価なものである。町ではどのような考えか。

答 (成田町長) 初期投資が大変かかるのと聞いている。今後は国や県の補助事業などを調査し、導入しやすいように町でも手助けしていきたい。

問 りんごの付加価値を高め6次産業化を推進するとあるが、これは個人・法人農家なのか。りんごワーカー研究所に限定して推進するつもりなのか。

答 (成田町長) りんごワーカー研究所では北海道から沖縄、さらに海外まで販売している。りんご加工開発館は、農家の皆さんが直接持ってきたりんご、お米、何でも加工し

問 6次産業とは生産、加工、販売、流通である。流通が一番大変だと思うが、やりたい人への支援策は考えているのか。

答 (成田町長) りんごワーカー研究所など、参考になる情報を流し、農家の所得を高めると考えている。

問 より快適なまちづくりには、高齢者の生活を後押しとあるが、どのような考えか。

答 (成田町長) 板柳中央病院内に地域連携室をつくり、医療と介護の連携を図りながら地域の高齢者の皆様が安心して暮らせるということを進めている。さらに地域包括支援センターや病院でもそういったシステムをつくっている。高齢者の方々が生活していく上で必要なものは地域全体で支えていくことを考えている。



松森 俊逸

選挙公約について

問 どのような町政、町づくりを描いているのか。

答 (成田町長) 町民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指している。

問 スマート農業について、具体的にどの農業技術を想定しているのか。

答 (成田町長) 最新技術を使って、農業の省力化を図ることである。

問 選挙目当ての農家に対する公約にしか聞かえないが。

答 (成田町長) どういった対応ができるか、今後検討していきたい。

問 リんごの6次産業化について、あなたがやった8年間で6次産業化できたものは。

答 (成田町長) リんごワークの隣に加

工開発館を造った。販売面も今後力を入れていきたい。
問 消防団に関して、充実強化をどのように図っていくのか。

答 (成田町長) 消防団員の処遇改善を行ったところである。

問 昨年8月9日の集中豪雨による岩木川及び十川増水は、午後4時30分に当町始まって以来の全町避難指示が発出される事態になったが、全町避難指示の発出の決定は誰がしたのか。

答 (成田町長) 町長が指示している。

問 発出したとき、町長はどこにいたのか。

答 (成田町長) はつきりとしませんが、管内の被害状況を見て総務課長に指示を出している。

問 町長、違います。最高責任者の町長は役場にいなかった。どこにいたのか。

答 (成田町長) 被害調査していた。

問 電話1本で総務課長に発出すると、そういうものなのか。

答 (成田町長) 電話で避難指示を指示している。

問 副本部長が外を見て歩いて、本部長に言うのが普通である。町長の行動としては見過ごせない。

答 (山口企画財政課長) 給食費無料化に関して起債対応できるのか。

問 借入れはできない。では、いつからやるのか。

答 (成田町長) 今答える立場にはない。

問 あなたの公約である。答える立場にないという答弁、ばかにしていないか。

答 (成田町長) できる限り速やかに対応していきたい。

板柳中央病院について

問 板柳中央病院の方向性を伺う。

答 (成田町長) 誰もが安心して必要な医療を受けることができるようにと考えている。

問 療養病床の比率が上がると医業収入減につながると思うが。

答 (成田町長) 収入には影響がないと考えている。

問 地域医療構想調整会議において急性期病床を持たないようになったのか。

答 (成田町長) 板柳中央病院は回復期、慢性期ということである。

問 急性期医療をやめ、2次救急病院の機能は維持できるのか。

答 (成田町長) 急性期の患者も入院できる。

水害りんご園地について

問 水害りんご園地の移転促進を図る考えは。

答 (成田町長) 農地取得費の一部を助成する予算を計上している。

問 農地取得の補助事業は何の役にも立たないと思うが。

答 (成田町長) 農地取得費の一部を助成することで、移転促進を図りたいと考えている。

問 今ある土地を買い上げたらどうかと前回も話した対象地域を町で買ったとしても、新しい土地を購入するために、そのお金を使う事となる。なぜできないのか。

答 (成田町長) リンゴ園地は、移転促進を図りたいと考えている。

答 (成田町長) 買い上げは困難だということである。

街路灯整備について

問 東雲町、栄町、仲町、大町の街路灯整備の考えはないか。

答 (成田町長) 緊急性の高いものについては撤去や修理を行っている。

常盤踏切前後の県道拡幅について

問 拡幅促進を図る考えはないか。

答 (成田町長) カラー舗装により、安全性の向上を図ることで県と協議し、合意している。

問 カラーリングで冬期の安全が図れるか。

答 (成田町長) 安全性は現状よりは向上する。

小中学校のリモート授業について

問 リモート授業の体制は整ったのか。

答 (永澤教育長) 円滑に実施できるよう体制づくりを整えていきたい。

任 員 会 査 常 委 員 会 審 査

総務産業厚生 常任委員会

■消防団員

◎町の消防団員は何名か。

①令和5年2月1日現在で235名である。

◎国では消防団員を増やしていかなければならないとしているが。

①随時消防団員の募集をしている。今回の報酬の引き上げにより少しでも増えればと思う。

■避難所の実績・備蓄品

◎避難した人数は。

①令和4年8月9日の避難した人数は午前零時時点で610人であった。

◎避難所は何力所か。

①小学校4力所、中学校、福祉センター、公民館の7力所である。

◎備蓄している水などのサイクルは。

①飲料水は現在ペットボトル1,000本備蓄している。賞味期限の過ぎたものは生活用水にして、毎年予算の範囲内で飲料水を購入している。

◎現在は避難所に水などを置いていないと思う。事故があった場合に運ぶのか。

①現在、役場と旧消防署に備蓄している。避難所開設時にそこから避難所に向けて配布するよう対応したい。

■板柳町史

◎完成したら每户配布するのか。

①每户配布の冊数は考えていない。

◎昨年の災害のことを、風化させないためにも記録していただきたいが。

①現在、編さん委員が編さんを進めている。入れていただく形で考えたい。

■当町のまつりに関して

◎りんごの里いたやなぎまつり補助金とあるが、山笠の主催は商工会か。

①まつり実行委員会である。

◎桜まつりに関しては今年実施するのか。

①桜まつりに関しては商工会でやっており、今はわからない。

◎花火大会はコロナも幾らか収まってきたので、今年はやったほうがいいと思う。

◆要望意見

◎町民窓口のワンストップ化と、タブレット端末の導入を含む議会デジタル化の早期実現をはかること。

福祉建設文教 常任委員会

◎管内小中学生2万円、高校生3万円の図書カードの贈呈について

①特に小学生は親も含めて使い方がわからないと思う。その予算2,500万円の商品券などの選択肢を与えたほうがいいと思う。

◎また、高校生については通学補助費も考えられると思うが。

①図書カードでもよいと考えている。

◎図書カードでなければならぬのか。

①県から既に交付決定の内示を受けており、図書カード事業以外に変更できないとのことである。そのため、図書カードを進めていきたい。

◎マイナンバーカード取得者への商品券

◎令和5年度に来た人へも行うのか。

①令和4年度は先着7,000人として行い、1月18日で7,000人を達成した。これから取得する方やまだ商品券をもらっていない方へ送付するよう予算計上している。

■町斎場の使用

◎町内の方、町外の方の使用料は。

①町内の方が5,000円で、町外の方が2万円である。

◎町外の方の利用者はどのくらいか。

①年間大体50人くらいである。

◎弘前地区環境整備事務組合負担金が1,500万円ほど多くなっているようだが、どのように算出されているのか。

①負担金の一部分として、各市町村のごみの搬入量に応じて負担金が決められている。

◎町民に対して、ごみを少しでもすくなくするような呼びかけをしてはいいかか。

①町民に対して毎年ごみの分別の表をお渡ししている。その辺をこちらでわかりやすく周知したい。

◆要望意見

◎青森県立板柳高等学校の閉校に伴い、町の高校生の通学費助成補助の早期実現をはかること。



予算特別委員会 総括質疑

令和5年度の各会計予算を審議するため、議員全員で構成する予算特別委員会（委員長：三戸玲子議員／副委員長：濱名康治議員）を設置し、3月13日・14日の2日間にわたり詳細に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※令和5年度各会計予算の詳細については、広報いたやなぎ4月号に掲載されています。



こちらのQRコードから
ご覧いただけます。→

◎ふるさと納税

■質問 鈴木清孝委員

今年度の実績は、また、実施するために使っている媒体は。

▲三浦税務会計課長

今年度は1億7,000万の歳入を見込んでいます。媒体はふるさとチョイスと楽天の2社を利用している。

■質問 鈴木清孝委員

返礼品で一番人気ある品目はなにか。

▲三浦税務会計課長

株式会社マルコウアップルさんの特A蜜入りサンフじ約5キ口糖度13度以上である。

■質問 佐藤洋治委員

返礼品について、税金に見合わないのお金を返して欲しいなどのトラブルはあるのか。

▲三浦税務会計課長

月に10件から15件ほどあるが、お金を返して欲しいというものはほとんどない。

■質問 佐藤文俊委員

板柳町からの納税は。

▲三浦税務会計課長

町民の方の他市町村への寄附額は令和2年度566万9,500円。令和3年度は672万9,800円である。

◎マイナンバーカード

■質問 鈴木清孝委員

現在の申請率、取得率は。

▲長尾町民生課長

2月末時点の交付率として、板柳町は62.1%である。



◎防災訓練関係予算・計画

■質問 今浩一委員

令和5年度は防災訓練を実施するのか。予算はあるのか。

▲大井総務課長

昨年のような大規模な訓練は予定していない。令和5年度予算の範囲内で避難訓練もしくは避難所訓練を考えている。

■質問 今浩一委員

町民の安全を守るために毎年やる必要性があると思うが。

▲成田町長

例えば、実際に被災された方々に町に来ていただいた講演会を行うなどいろいろなパターンがあると思う。そういったことを含め、今後検討していきたい。

◎避難所としての役場庁舎

■質問 松森俊逸委員

岩木川・十川が増水した場合、役場は浸水被害はないのか。

▲大井総務課長

役場庁舎は実際に岩木川が氾濫した場合3メートル浸水するという予想であり、地下室に電源関係、さらに非常電源も外にあり、十分稼働できるかは不安である。

◎板柳町アフターコロナ飲食店活性化支援について

■質問 今浩一委員

令和5年度予算に新規事業として300万円計上されているが、その他に考えないのか。

▲成田町長

今後のコロナの感染状況の推移を見守りながら、どういった商店街の活性化ができるのか、今後また考えていきたい。

■質問 今浩一委員

この飲食店の活性化事業の内容は。

▲小枝産業振興課長

商工会で実施する飲食店活性化事業を支援することである。現在のところでは、はしご酒らりーを支援することで想定はしている。

■質問 今浩一委員

商工会に考えていただいているということであり、町の方では具体的な案はないという解釈でよいか。

▲小枝産業振興課長

事業主体は商工会さんのほうを予定している。今後商工会でもっと効果的な事業を提案していただけたら、それもこの補助金を活用していただくことを想定している。

◎町の国際交流

■質問 長内良威委員

令和5年度はアメリカや中国の昌平区の交流は行わないのか。

▲成田町長

町ではこれまで中学生の派遣研修、ヤキマ市との交流を行っている。所管の教育委員会と詰めながら実施していきたい。私はできる範囲で実行していただきたいと思います。



◎人口減少対策・結婚支援

■質問 佐藤洋治委員

当町でも何種類もの事業を行っているが、その効果は。

▲成田町長

8年前に町長就任してから、事業を通してこれまでに町外から転入した方が100人以上である。一気に人口を増やすことはできないが、人口の減るのを少しでも抑えて、スピードを緩めていくことを目指している。事業を継続しながらこの人口減少対策に努めていきたい。

■質問 佐藤洋治委員

今一番問題になっているのは、結婚していない方が多い事であると思う。結婚させるのに結婚サポートなど、人口部分の手助けが必要ではないか。

▲成田町長

結婚しない人が多いことも一因だと思う。町では、婚活支援事業として、毎年予算を計上している。さらに、広域圏でも「男女の巡り合わせ」の活動もしている。必要であれば、町独自でもまた考えていきたい。

◎りんごワーク研究所交付金

■質問 松森俊逸委員

交付金9,650万円について、前年対比の増減は。

▲八木橋ふるさとセンター所長

前年度に比較して、152万9,000円増である。パート職員1名増の分が大きい。

■質問 松森俊逸委員

増額して要求しているとのことだが町側では査定として切った部分はあるのか。

▲山口企画財政課長

金額を引き下げる査定をしている。

■質問 松森俊逸委員

こういう状態で新商品の開発やら販促促進等が可能だと思っか。

▲成田町長

りんごワークでは経費削減など経営改善を進めている最中である。りんごワークにはさらに自主努力して経営改善に向かうよう指導していきたい。

■質問 松森俊逸委員

りんごワークの理事として、理事会を経ずに、町側に要求することは異常ではないか。

▲村上副町長

町の施設の部分に関して管理費用としての人件費を計上しているので、必ずし

も全体的な理事会に諮る、そういうことにもならないかと私は思う。

◎旧畑岡小学校校屋根修繕工事

■質問 濱名康治副委員長

施設は147年になる建物であり、現在年間25万ぐらいの賃料で貸している。484万2,000円で屋根を新しくするようだが、今後何年このようにやっていくのか。

▲成田町長

利用者もいるので何年貸すではなく、今ある施設を大事に、修理できるところは修理して、できるだけ長く貸していきたい。

■質問 濱名康治副委員長

これだけの修繕費をかけた、町としてのメリットは。

▲成田町長

地元雇用につながる場所であるので、それを願って、予算計上した。

■質問 濱名康治副委員長

今貸している人たちに売る考え、買い取ってもらう考えはないか。

▲成田町長

現状はそういうことは考えていない。

■質問 濱名康治副委員長

欲しいから売ってくれと町に言った場合は、売るこ

とを検討するのか。

▲成田町長

借りている側で売っていただきたい、譲っていただきたいとなれば、町でも真摯に前向きに検討していくことだと考える。

■質問 濱名康治副委員長

売ってほしい場合は売ってくださいと、町と協議、申入れをすると前向きに応じてくれるのか。

▲成田町長

使い方にもよるが、周辺に環境問題などないのであれば、私は希望に添って譲ることも可能だと考える。



◎統合小学校について

■質問 今浩一委員

旧小学校を利用して統合すれば5億円、新しく作れば40億円だと示したのは町側であるか。

▲成田町長

教育委員会のアンケート調査では4校を1校に統合し、板柳中学校の隣に新校舎を建設してほしいと回答

した方が全体の46%で最も多く、町としては保護者や町民の方が望んでいる施設整備を進めていきたいと考えている。

■質問 今浩一委員

板柳には、北・南小学校と比較的大きな学校がある。どちらか1校あれば、今の小学生全部入る。その規模を持った学校を2つも持っていると思うが。

▲永澤教育長

人数的には建物の中には入るが、現在あるいはこれからの子ども達に対応していくための広さということを考えれば、手狭になると思う。



一目で分かる審議結果

○審議された議案

◆第13回定例会（令和5年3月）

議案番号	議案	結果
議案第36号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合の規約の変更について	可決
議案第37号	町道の路線認定について	可決
議案第38号	板柳町犯罪被害者等支援条例の制定について	可決
議案第39号	板柳町個人情報保護法施行条例の制定について	可決
議案第40号	板柳町情報公開条例の一部改正について	可決
議案第41号	板柳町議会議員及び板柳町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第42号	板柳町国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第43号	板柳町国民健康保険条例の一部改正について	可決
議案第44号	板柳町病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第45号	板柳町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決
議案第46号	令和4年度板柳町一般会計補正予算（第10号）	可決
議案第47号	令和4年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第48号	令和4年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第49号	令和4年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第50号	令和4年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第51号	令和4年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第52号	令和4年度板柳町水道事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第53号	令和4年度板柳町公共下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第54号	令和5年度板柳町一般会計予算	可決※
議案第55号	令和5年度板柳町国民健康保険事業特別会計予算	可決※
議案第56号	令和5年度板柳町後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第57号	令和5年度板柳町介護保険特別会計予算	可決
議案第58号	令和5年度板柳町農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第59号	令和5年度国民健康保険板柳中央病院事業会計予算	可決※
議案第60号	令和5年度板柳町水道事業会計予算	可決
議案第61号	令和5年度板柳町公共下水道事業会計予算	可決
議員発議第15号	いたやなぎ町議会だより編集特別委員会の名称変更について	可決
議員発議第16号	板柳町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決

※「可決※」は次ページ掲載の「賛否の分かれた議案」である。

板柳町議会 YouTube 動画配信中！

YouTube で「板柳町議会」と検索！

板柳町議会



QRコードからも
アクセスできます！→



○賛否の分かれた議案

◆第13回定例会（令和5年3月）

議案	氏名	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	松森 俊逸	今 浩一	葛西 幸男	長内 良蔵	成田 肇	三戸 玲子	結果
議案第54号 令和5年度一般会計予算		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成9人 可決
議案第55号 令和5年度板柳町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成9人 可決
議案第59号 令和5年度国民健康保険板柳中央病院事業会計予算		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成9人 可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長は採決に加わらない。

議会の動き（1月～3月）



開催日	会議等名	開催日	会議等名
1月	10日 議会だより編集特別委員会	3月	1日 議会運営委員会
	16日 町例月出納検査（監査）		6日 本会議（開会、定例会日程・町長の提案理由等）
	25日 議会だより編集特別委員会		〃 議員全員協議会
	〃 議会運営委員会		7日 町例月出納検査（監査）
	30日 国民健康保険運営協議会		8日 本会議（一般質問・5名）
2月	1日 議会だより編集特別委員会		9日 総務産業厚生常任委員会
	6日 町例月出納検査（監査）		〃 福祉建設文教常任委員会
	10日 西北津軽郡町議会議長会協議会		13日 予算特別委員会
	15日 弘前地区環境整備事務組合議会定例会		14日 予算特別委員会
	〃 津軽広域連合議会定例会		15日 本会議（委員長報告、採決、閉会）
	〃 弘前地区消防事務組合議会定例会		23日 議会広報特別委員会
	27日 青森県町村議会議長会定期総会		
28日 西北五広域福祉事務組合議会定例会			

いたやなぎ町議会だより 「夢追人」を募集しています！

内 容：表紙写真の掲載
町内在住、男女年齢・個人団体問わず。
大人の方でも大歓迎!!

募集期間：随時募集

選考方法：議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。

問 合 せ：板柳町議会事務局（73-2111）

※定例会及び臨時会については、
広報いたやなぎにも掲載されています。



※本誌P11に掲載されている「賛否の分かれた議案」に対する反対討論です。
討論は議会の会議録をそのまま掲載しています。

令和5年度板柳町一般会計予算 (議案第54号)

反対討論 松森俊逸議員(無所属)

私は、本議会ですぐ一般質問で現職町長の公約について質問いたしました。その中で明快な答弁はいただけれておりません。具体的には何か。現職町長として町民に対しての公約、私自身が一番引っかけたのは給食費の無償化であります。現職の町長として給食費の無償化、それも質問の中で年間3,600万円の支出が必要になります。であるならば、きちっと有権者に対して約束した現職の町長として、自分の公約に沿って自らが提案した一般会計の来年度の予算に給食費の無償化の3,600万円を盛るべきです。そうでなければ選挙目当ての単なるリップサービスにとらわれても、誤解されても何も申し開きできないものというふうに私は考えます。

あわせて、昨日の特別委員会及び一般質問等でも話がありましたが、防災に力を入れると、そのために消防団員の報酬を上げましたと、それはいいことでしょう。しかし、実質消防団が今後、今以上にどのように動くのか、町全体として防災にどのように取り組むのか、その基本中の基本である防災計画の見直しもありません。

そして、何よりも去年の8月9日午後4時半に板柳町始まって以来の全町避難が発令、発出されたそのときに町長は役場におりませんでした。後の質疑で分かったことですが、7か所の避難所を回って避難町民を激励及びその要望を聞いていたという話がありました。しかし、実際町長が役場を出たのは9日午前中です。昼前に出た。その後全町避難が発出される16時半まで何をしていたのですか。岩木川、十川の増水の状況を見たと言っていますが、実際は16時半までの4時間半の行動が見えません。少なくとも16時30分に当町始まって以来の緊急事態、全町避難の発出をした、その現場に町長はおりませんでした。その後初めて避難民が各避難所に集まったわけですから、時系列的に考えて、誰もが分かる通り、それ以降に町長は各避難所を回っているというふうに理解するの

が普通のことだと思います。しかし、町長の答弁では、その後役場に来て指示をした、そしていろいろ関係各課と調整したというふうに述べていますが、実際何時に役場に来て、何時に退出したのかも記憶がないという非常に曖昧な答弁に終始いたしました。私自身は、自らの経験はありませんけれども少なくともあの非常時において対策本部があった役場にいなかった重みというのは、非常に重大なものがあるというふうに思います。よって、来年度の一般会計に防災、減災及び避難訓練の予算も盛らないような町長が提出する一般会計には賛同することはできません。

その他、例えば統合小学校を造るというのも町長の一番の公約なわけですが、それすら一般会計の予算には一円も盛られていません。まだ通学路の整備等に時間を要す、調査研究中だと言いますけれども、皆さん思い起こしてください。統合小学校の新設を40億円で決めるという教育委員会は、ものの40分ないし長くても50分でその方針を決めたのです。たった40分か50分で40億円の新しい小学校を造ることを決めた。それはいいでしょう。しかし、それからどれだけの月日がたったのですか。町として、中学校の隣に統合小学校を造るという大方針を決めた以上、それに向けて調査研究どころか、もう計画を立てておかなければ駄目でしょう。たった40分ないし50分で決めた、その後開かれた町教育会議、町長が主宰する教育会議では、これも同様に1時間もしないでその方針を是としたのです。オーケーかけたわけですが、その関連予算、令和5年の今の新年度予算に一円たりともっていない、これも単なる選挙目当ての、要は有権者向けの美辞麗句にしか聞こえないし、現職の町長としては無責任そのものだというふうに私は思います。

るるその他ありますが、大きい柱は、自分の公約は、新人でないですよ、現職の町長として予算の提案権もある、まして2期8年間、町長を務めた方がやるようなことではないというふうに思います。

令和5年度板柳町国民健康保険事業特別会計予算 (議案第55号)

反対討論 松森俊逸議員(無所属)

新年度国保会計の基本的な財源は何かというと、もう一度この議場にいる皆様方に私から訴えたいと思います。4点方式を3点方式にしたことで、財源はマイナス5,000万円、5,000万円の減です。あわせて、保険料の算出根拠は過去3年間の決算を想定しております。皆さん、思い起こしてください。過去3年間、コロナの真っ最中です。コロナの真っ最中に何が起きているか。診療控えが起きているのです、診療控え。平時ではないのです、非常時で。病院に行けばコロナに感染するから、あまり緊急性を要しない方は診療を控えた。よって、国保会計は非常に黒字幅が増えたのです、3年間。どういうことか。これが万が一、コロナも収まってアフターコロナの状況になれば、間違いなく診療に行く方は増えるわけです。コロナ前の4年、5年前に遡って増えるかどうかは、まだ予想はできませんけれども、間違いなく診療控えはだんだん、だんだん元に戻りつつある。その現象というのは、インバウンドと同じなのです。外国人がコロナで日本に来なくなって、国のインバウンド事業は非常に赤字幅が増えた。しかし、今、次々また増えてきています。それと同

様のことが、受診をする人がまた増えていくのです。そうすれば、今基金4億円あるといっても、一回大規模な、例えばインフルエンザ等の流行があれば、あっという間にプラス1億5,000万円、2億円のオーダーでその支出が増えるわけです。にもかかわらず、平気で非常時であるコロナの時期の診療費を基本データとして今の新年度予算、それも4点方式から3点方式に変えたことによってプラス・マイナス、プラスですよ、プラスというのは加えてマイナス5,000万円の減がある、こういう歳入の予算をまたごく普通に出してくる当局の考えが知れません。

過去において、国保会計においては1年間診療をしなかった方に関して、保険料だけ払って、要は何もその保険を使わなかった町民に対して、できたら報奨金とか出す気持ちないかと言ったら、町長答弁はかつて健康が一番だという、たった一言で終わりました。多分こういう病気とか医療とか興味ないのでしょうか。もう一度繰り返すようですけれども、非常時の歳入をデータとして使って、なおかつ加えてマイナス5,000万円の財源が減るにもかかわらず、それを根拠につくった予算は認めるわけにいきません。

令和5年度国民健康保険板柳中央病院事業会計予算 (議案第59号)

反対討論 松森俊逸議員(無所属)

板柳中央病院の会計、これそのものには、数値的にはこれといって反対はしません。しかし、板柳中央病院の経営に関わる根幹の姿勢が町長から見えてこないのです。私、一般質問でも、予算特別委員会でも話をしましたけれども、板柳中央病院の方向性をどのようにするのか、その一番最たるものが今回、今これ議会が終わったら、また全協で説明するでしょうし、所管委員会には説明されたと思いますけれども、板病経営強化プラン、この選択肢の中に、要は開設者の判断、開設者というのはイコール町長本人ということです。本人で指定管理者の選択ができる、そして民間への移譲、要は民間に売り渡すということです、もできる項目が入っております。その前に2つの選択肢があるのですが、今回それは問題にはしません。町長が新人で1回目の公約には、病院再編というのが書かれているのです。それからいくと、私自身が不安なのは、町長自身が場合によっては板柳中央病院を指定管理者、民間等に渡すつもりがあるのではないかという危惧が私の中からは消えないわけです。要は板柳中央病院の今後は、どういうふうな方向性になるのか。一つの例が急性病床をなくします。しかし、救急指定病院は維持します。これは、矛盾した町長の

答弁、考え方なのです。救急指定病院、今2次救急指定が行われていますけれども、急性期医療病床をなくするという事は、将来的には間違いなく救急の指定も解いていかざるを得ない状況にあるのです。そういうことがあってはなりません。

板柳中央病院は自治体病院として、地域の要として残していかなければ、かつて板柳中央病院の経営再建、健全化に取り組んだ方々にとってもではないですけれども、我々は申し開きはできません、議員として。私は、そう思っています。病院会計の予算書を見ても具体的には急性期医療病床の削減、書いてはいません。しかし、これというのは医業収入の減には間違いなくつながるのです。そして、今回の移行で3床減らすということで、だんだん、だんだん療養型の病院にならざるを得ないのです。

意見を言わない与党の方に申し上げます。療養型、どういうことか分かりますか。看護師の体制が、7対1が10対1でもいい、そういうふうになってくるのです。もっとその辺を単に内容も精査せずに異議なし、異議なしと言われるたびに、私はあそこで義憤を感じます。みんな考えて板柳中央病院を大事に、経営を健全的に守っていきたい、その思いがあればこそ、あえて問題提起をこの場からいたします。

新しい板柳町議会議員を紹介します



くすみ ひとやす
楠美 仁康 議員

町内名 文京町

所属委員会 総務産業厚生常任委員会
小学校統合問題検討特別委員会
不当要求行為調査特別委員会

所属会派 無所属

趣味 犬の散歩

ひとこと 町職員としての経験を生かし、新しい風を町政に吹き込み、町民と町の現在、そして未来への架け橋となるため、邁進して参ります。

おめでとうございます！

全国町村議会議長会 議員15年表彰

長内 良蔵 議員



板柳町議会 YouTube チャンネル公開中！！



- ・議会ってなにをしているのか、わからない
- ・都合が合わず、傍聴に行けない
- ・平日は時間がない
- ・町内の議員、どうしてるかな



板柳町の議会が、いつでも、どこでも、空き時間でチェックできます！皆さんが選んだ町長や議員がどのような考えで町政に向き合っているのか、ぜひ参考にご覧ください。

◎アクセス方法

- 1 YouTubeで「板柳町議会」と検索！
- 2 QRコードからもアクセスできます！



お知らせ

「いたやなぎ町議会だより編集特別委員会」は「議会広報特別委員会」に名称を変更しました。

編集後記

早朝のスピードスプレーヤーのゴウオーという音で目を覚ます時期になりました。

りんご農家の皆様には、美味しいりんごの収穫まで農薬散布、大変ご苦労様です。

今年のりんごの豊作、高値をお祈り致します。

りんごの里板柳のりんごは美味いよ！

(委員 工藤 貢)



【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第38号発行予定は8月10日頃です。議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。